

平成29年度 水道事業 業務の概況

地方公営企業法第40条の2の規定に基づいて、平成29年度阿南市水道事業経営の業務概況について公表します。

平成30年11月1日 阿南市長 岩浅 嘉仁

水道事業の公表にあたって

水道事業は、「安全」・「安心」・「おいしき水」、「安定的」に供給することを最大の使命として、建設改良事業により、阿南市内の水道施設耐震化や老朽管路の布設替工事等を順次実施することとしています。

また業務面では、サービスの向上と経営の効率化を図るため、水道料金等に関する業務を引き続き民間の専門業者に委託し、民間事業者の有する技術や能力を最大限活用することにより、可能な限り経費を削減し、効果的・効率的な水道事業運営に努めて参りました。平成29年度

し、質的向上、効果的・効率的な水道事業運営を図って参りたいと考えています。

現年の水道料金の収納率は99・27%で昨年度と同様に収納率が安定しており、水道使用者間の公平性を確保するため、今後民間活力を活用

水道事業経営については、「水道拡張時代」において建設改良費の財源の多くを企業債に依存してきたことから、企業債残高は類似団体の2倍に近い数値を示しており、現在も大きな負債を抱えています。このような状況の中、南海トラフ巨大地震に備えた施設の耐震化や耐用年数を超過した老朽管の更新に多額の費用が必要であるため、昨年度の料金改定により、当面の事業の財源確保を行い、経営基盤の強化・改善を図っています。

民間活力を活用

今後、健全な経営体制を整えながら、将来にわたり安心して安定した水の供給を行うための事業の取組を進めて参りたいと考えています。

■貸借対照表 (税抜)

| 科目 | 金額 | 科目 | 金額 |
|-----------|-------------|---------|-------------|
| 固定資産 | 138億8,775万円 | 固定負債 | 66億5,668万円 |
| (有形固定資産) | 138億8,743万円 | 企業債 | 66億5,668万円 |
| 土地 | 3億5,071万円 | 流動負債 | 7億2,845万円 |
| 建築物 | 4億6,125万円 | 企業債 | 5億4,491万円 |
| 構築物 | 125億3,457万円 | 営業未払金 | 8,795万円 |
| 機械及び装置 | 4億2,489万円 | 営業外未払金 | 2,514万円 |
| 車両及び運搬具 | 335万円 | その他未払金 | 1,780万円 |
| 工具器具及び備品 | 2,528万円 | 前受金 | 704万円 |
| 建設仮勘定 | 8,738万円 | 賞与引当金等 | 753万円 |
| (無形固定資産) | 32万円 | その他流動負債 | 3,808万円 |
| 電話施設利用権 | 32万円 | 繰延収益 | 31億6,158万円 |
| ソフトウェア使用権 | 0万円 | 長期前受金 | 31億6,158万円 |
| 流動資産 | 15億9,943万円 | 資本金 | 29億3,795万円 |
| 現金預金 | 12億1,823万円 | 資本金 | 29億3,795万円 |
| 営業未収金 | 2億3,351万円 | 剰余金 | 20億252万円 |
| 営業外未収金 | 0万円 | 資本剰余金 | 6億4,504万円 |
| その他未収金 | 2,297万円 | 利益剰余金 | 13億5,748万円 |
| 貸倒引当金 | △563万円 | 負債・資本合計 | 154億8,718万円 |
| 貯蔵品 | 3,755万円 | | |
| 前払金 | 9,280万円 | | |
| 資産合計 | 154億8,718万円 | | |

受託工事費 5,327万円
配水及び給水費 1億2,084万円
原水及び浄水費 1億7,189万円

■業務概況

| | |
|----------|-----------------------------|
| 給水戸数 | 29,393 (戸) |
| 給水人口 | 69,648 (人) |
| 年間有収水量 | 9,241,366 (m ³) |
| 一日平均有収水量 | 25,319 (m ³) |
| 一般用有収水量 | 7,916,311 (m ³) |
| 業務用有収水量 | 1,297,039 (m ³) |
| 湯屋用有収水量 | 20,887 (m ³) |
| その他有収水量 | 7,129 (m ³) |

■収益と費用 (税抜)

